

小5

1

名前

漢字心法帖

正しい筆順で丁寧にゆつくり書こう！

小5

2

名前

漢字寫法帖

2017

正しい筆順で丁寧にゆつくり書こう！

小5

3

名前

漢字心法帖

正しい筆順で丁寧にゆづくり書こう!!

小5

4

名前

漢字 心法帖

2017

正しい筆順で丁寧にゆつくり書こう!!

小5

5

名前

漢字心法帖

2017

小5

⑥

漢字忍法帖

名前

【

】

銅	適	領	移	防	示	快	志	群	断	
銅 銅 銅 銅 銅 銅 銅 銅 銅 銅 銅 銅	ドウ 金(14)	適 適 適 適 適 適 適 適 適 適 適 適	テキ リヨウ リヨウ リヨウ リヨウ リヨウ	イ・うつる うつす 禾(14)	ボウ 防 防 防 防 防	しめす 示 示 示 示 示	ここそよい ・カイト (7)	志 志 志 志 志 志	群 群 群 群 群 群	グン ダ ン 断 断 断 断 断 斤(11)
銅 銅 器 像	ひつじゅん ていねい	度 切 と せつ	適 領 てき りょう	本 地 ほん ち	移 転動 い てんどう	防 消 ぼう しょう	指 提 し てい	快 方 かい ほう	意 晴 い せい	

正しい筆順で丁寧にゆっくり書こう!!

小5

(7)

漢字忍法帖

名前

】

】

情	均	性	稅	險	編	德	易	貿	職
情 情 情 情 情 情 情 情 情 情 情 情	均 均 均 均 均 均 均 均 均 均 均 均	性 性 性 性 性 性 性 性 性 性 性 性	稅 稅 稅 稅 稅 稅 稅 稅 稅 稅 稅 稅	險 险 险 险 险 险 險 险 险 险 险 险	編 編 編 編 編 編 編 編 編 編 編 編	德 德 德 德 德 德 德 德 德 德 德 德	易 易 易 易 易 易 易 易 易 易 易 易	貿 貿 貿 貿 貿 貿 貿 貿 貿 貿 貿 貿	職 職 職 職 職 職 職 職 職 職 職 職
情 情 情 情 情 情	均 均 均 均 均 均	性 性 性 性 性 性	稅 稅 稅 稅 稅 稅	險 險 險 險 險 險	編 編 編 編 編 編	德 德 德 德 德 德	易 易 易 易 易 易	貿 貿 貿 貿 貿 貿	職 職 職 職 職 職
ひつじゅん で丁寧 ていねい	正 し い 筆 順 で 丁 寧 に ゆ つ く り 書 こ う !!	ゆう 心 きん へい 性 せい かん ぜい 關 保 ほ 編 短 たん 徳 道 どう 安 容 よう 易 用 よう 徳 とく 易 い 貿 易 えき 業 業 ぎょう 人 にん	じょウ キン セイ セイ ケン あむ・ヘン系 イ エキ・イ 日 ボウ 貝 シヨク 耳 (11) (7) (8) (12) (11) (15) (14) (8) (12) (18)						

小5

8

名前

漢字心法帖

正しい筆順で丁寧にゆつくり書こう！

小5

9

名前

漢字心法帖

正しい筆順で丁寧にゆづくり書こう！！

小5

10

名前

漢字心法帖

正しい筆順で丁寧にゆづくり書こう！！

四字熟語忍法帖 テスト

①

名前

点

※読み方と空欄に当てはまる漢字を書きましょう。

⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①	
一	一		危	自		絶	前		臨	問題
日	心	前	機		肉	絶	代	信	応	
千	同	絶		自	強	命	未	半	変	意味
		後	髪	贊	食			疑		
待ち遠しくて、一日が千年にも思えるほど、時間のたつのがおそらく感じられること。	二人以上の人があること。ようになること。	今までに比べられる例が一度もなく、これがわざること。先も二度と同じような例は起こらないと思なこと。	髪の毛一筋ほどの違いで危険なめにあいそうなこと。	自分で自分のしたことをほめる」と。	弱いものをきせいにして、強いものが栄えること。	どうしても逃れる方法のない困難な立場にあること。	これまでいちども耳にしたことがないような、めずらしい、かわったこと。	なかば信じ、なかば疑うこと。ほんとうかうそか、判断に迷うこと。信じきれない状態。	時と場合の変化に応じて、適切な対応をすること。	

四字熟語忍法帖 テスト

(2)

名前

点

※読み方と空欄に当てはまる漢字を書きましょう。

⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①	
意 意 合	一 部 始	世 一 代	群 心 理	死 回 生	自 自 足	十 人	電 石 火	變 万 化	發 百 中	問題
考え方や好みなどが一致して、気持ちがぴったり合うこと。	物事の始めから終わりまで全部。	一生のうちでもこれがいちばんという、はなばなしのおこないをすること。	群がり集まつたために生じた、ふだん一人のときとは異なる特別な心理状態。多くの場合、気持ちが高ぶり、他の行動にひきずらくなってしまう。ふつうではできないよ	死にかかつていた病人を生き返らせること。非常に悪い状態からよい状態へ立ち戻らせる	食物や衣服など、自分が生きていくのに必要なものを自分で生産し、用を達すること。	好みや考えが人それに違うこと。	きわめて短い時間。とてもすばやい行動。	ものごとの変化の多いこと。場面や事件がつぎつぎと変わっていくこと。	発射すれば必ず命中すること。予想や計画がいつも思つたとおりに実現すること。	意味

四字熟語忍法帖 テスト

(3)

名前

点

※読み方と空欄に当てはまる漢字を書きましょう。

⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①	
異 同 音	一 望	一 石 二	右 左 往	公 平 私	苦 八 苦	捨 選 択	大 器 晚	二 束 三	言 実 行	問題
多くの人々が口々に同じことを言うこと。多 数の意見が一致すること。	見渡す限り、広々としている様子。	一つのことをして、二つの利益や効果を上 げること。	まとまりなくあちこちへ動き、うろたえ混 乱するようす。	一方にかたよらず、平等で、自分の利益や欲 心のないこと。	求めめる心がないこと。えこひいきせず、私 かいる人は、若いころは目立たず、年をとつて から大成するということ。	いくつかのなかから、よいもの、必要なもの を選び出して、悪いもの、不必要なものを捨 てるのこと。	ひとがらや才能のスケールが大きく、優れて いる人は、若いころは目立たず、年をとつて から大成するということ。	数が多くても値段が非常に安いこと。	あれこれ言わずに、よいと思うことやするべ きことを、だまつて実行すること。	意味

四字熟語忍法帖 テスト

④

名前

点

※読み方と空欄に当てはまる漢字を書きましょう。

⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①	
付			心	自	言	公	一	温	心	問題
雷	進	同	業	業	語	正	朝	故	伝	
同	月	小	自	自	道	大	一	知	心	意味
自分の考え方を持たないで、人の意見にいいかげんな気持ちで賛成し、いっしょに行動する」と日に日に、驚くほどのはやさで進歩する」と	小さなちがいはあるが、おおよそのところは同じであること。大差のないこと。	あることをきっかけとして、心がけが、がらりと変わつて、望ましい方へ向かうこと。	自分が悪いことをしたために、よくない報いを受けること。	言葉も出ないほど、まったくひどいこと。あきれで言葉も出ないこと。	公平で、不正やかくじ」とがなく、少しの私心もないこと。	ひと朝とひと晩。わずかな期間のたとえ。	昔のことを訪ねもとめ、そこから新しい知識を得ること。	だまつっていてもたがいに心が通じること。		

自分の考え方を持たないで、人の意見にいいかげんな気持ちで賛成し、いっしょに行動する」と日に日に、驚くほどのはやさで進歩する」と

四字熟語忍法帖 テスト

(5)

名前

点

※読み方と空欄に当てはまる漢字を書きましょう。

⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①	
一 一 会	一 兩 得	一 一 短	五 里 中	七 八 起	小 棒 大	单 刀 直	馬 耳 風	無 我 中	有 無 実	問題
一生の間にただ一度出会うこと。生涯に一度限り。(「一石二鳥」)	一つのことをして、二つの利益を得ること。	長所もあり、短所もあること。	五里四方に広がつた霧の中にいるようになすつかり迷つて、どうしてよいかわからぬこと。	何度も失敗してもくじけずに立ち上がって努力をつづけること。	ちょっととしたことをおおげさに囁うこと。	前置きなどなしに、直ちに本題に入ること。	人の意見や忠告をいつこうに気にかけないと。	あることに熱中して、我を忘れること。	広く知られているが、名ばかりで、実際の中身や性質がともなっていないこと。	意味

四字熟語忍法帖 テスト

(6)

名前

点

※読み方と空欄に当てはまる漢字を書きましょう。

⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①		問題	意味
朝 三 四	千 差 別	耕 雨 詠	面 楚 歌	三 々	寒 四	完 全	因 應	一 報	我 引 水			
まく話して他人をだましたり、ばかりにしたりする目に先の違いにこだわって結果が同じになること。自分の気が付かないこと。また、言葉の上だけ違うこと。	多くのものがそれぞれ違つてゐること。	晴れた日は耕作し、雨の日は読書すること。転じて世間のわざらわしさをはなれ、のんびりと自由に生活すること。	まわりがみな敵となり、孤立すること。	三人、五人と、少人数が連れ立つて行動するようす。	三日間くらい寒い日がつづき、そのあと四日にかけての気候。	三日間くらい暖かい日が続くといふ。冬から春先にかけての気候。	過去あること。	完全で、少しも不足するところがない。	自分の都合のいいように考えたり、したりすること。	状態や情勢がよくなつたり悪くなつたりすることが繰り返されること。	自分の都合のいいように考えたり、したりすること。	状態や情勢がよくなつたり悪くなつたりすることが繰り返されること。

四字熟語忍法帖 テスト

(7)

名前

点

※読み方と空欄に当てはまる漢字を書きましょう。

⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①	
口 雜 言	一 專 心	一 帶 水	一 發 起	一 網 尽	一 來 復	一 害	一 半 解	一 失	散 霧 消	問題
人を悪く言い、口ぎたなくののしること。 ほかのことを考えず、そのことだけに心を集中すること。	一本の帯のように、はばのせまい川や海。ま いた、それによつてへだてられ、となりあつて	事をなしとげようと決心すること。	網を打つて、一度にたくさん魚をとらえる ことから、悪人の一味を、一度に残らずとら えること。	冬が去つて春になること。よくないことが続 いたあと好運が向いてくること。	利益があるかわりに、害もあること。	十分には理解できていないこと。	一つの利益があれば、一方で一つの不利益が あること。	物事が一度にあとかたもなく消えてなくなる こと。	意味	

四字熟語忍法帖 テスト

(8)

名前

点

※読み方と空欄に当てはまる漢字を書きましょう。

⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①	
金 科	主 転	広 大	後 大	手 勝	急 存	牛 飲	山 草	三 拌	分 五	問題
条	倒 倒	辺	事	手	亡	食	木	拌	裂	意味
り。その人にとっていちばん大切な教えやきま	主人と客の立場をとりちがえるように、ものごとの大切なことと、どうてもいいことを逆にあつかつてしまふこと。	広くて大きく、はてしないこと。	死後に生まれ変わったときの安樂を願つて、仏教の信仰にはげむこと。物を非常に大事にすること。	自分中心にふるまうこと。わがまま。	危険や災難が近くに迫り、生き残るか滅び去るかの瀬戸際であること。	牛のように飲み、馬のように食べることから、はなはだしく多量に飲み食いすること。	山や川、草や木などの自然。	繰り返しおじぎをして敬意を表すこと。人にしきりりにものをたのむこと。	ばらばらに分裂してしまうこと。	

四字熟語忍法帖 テスト

(9)

名前

点

※読み方と空欄に当てはまる漢字を書きましょう。

⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①	
人	誠	是	同	独	南		暖	鯨		
事	心	々	工	異	北	学	飲		夜	兼
不	誠	々	異	專	馬	多	飽	食	行	
		々		行		才				
大病や重症のため、意識を失うこと。	まいこころをもって。いつわりのない心で。	よいことはよい、悪いことは悪いときちんと判断すること。	詩歌・文章・音楽などで、作り手の手ぎわは同じであるが、おもむきが異なること。またはだいたい同じでは異なつていいようであるが、内	自分ひとりの判断で、かつてにものごとを行うこと。	ほうぼうを絶えず旅行すること。	さまざまな学問を通じ、いろいろな才能に恵まれていること。	衣服をたくさん着て体をあたかくし、あきらめどたくさん食べること。何の不自由もない暮らししぶりをあらわす。	鯨のようなくらべて飲み食いすること。からら一度にやたらに飲み食いすること。	昼も夜も休まずつづけて行うこと。	問題
										意味

四字熟語忍法帖 テスト

⑩

名前

点

※読み方と空欄に当てはまる漢字を書きましょう。

⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①	
半		文	暴		面		離	竜		
承	明	暴	場	一	頭	狗	合	蛇	魂	洋
半	開	食	致	腹	肉		散	尾	才	
生	承			背						
死ぬか生きるかのさかいめの状態にあること。 やむを得ず行動するようす。いやいやながらしぶしぶ。 人間の知識や技術が発達して、世の中が治け、生活が便利で楽になること。 このはじめ、西洋の文明を積極的に取り入れ明たこと。 表面では服従しているふりをし、内心では反抗すること。 その会場にいる人のすべての意見や考えが同じになること。 酒などを飲み、やたらにたくさん食べるこ	人間の知識や技術が発達して、世の中が治け、生活が便利で楽になること。 このはじめ、西洋の文明を積極的に取り入れ明たこと。 表面では服従しているふりをし、内心では反抗すること。 その会場にいる人のすべての意見や考えが同じになること。 看板には羊の頭を出して実際には犬の肉を売ることから立派に見せかけて、実はわなないこと。 人々がばらばらになつたり、集まつたりすること。	日本固有の精神をしつかりと持ちながら、西から伝來した学問を身に付けること。 頭は竜で尾は蛇の意味から、はじめは勢いがなくなること。 さかんであるが、終わりになるとその勢いがなくなってしまうこと。	名前	意味						

小5 №.1

名前 ()

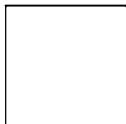
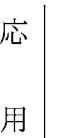
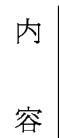
- | | | | | | | | | | |
|---------|----------|----------------|----------|----------|----------|----------|-------------|------------|---------|
| ⑩ 小鳥をかう | ⑨ えのぐをぜる | ⑧ いきおいかよくかけてくる | ⑦ 5分が経する | ⑥ いきなりれる | ⑤ きんあらわす | ④ 家で復習する | ③ 往ふくの道のりする | ② 絶対にわすれない | ① 商品の検査 |
|---------|----------|----------------|----------|----------|----------|----------|-------------|------------|---------|

1問10点

日付

コメント；

点

- | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|--|---|---|---|---|
| ⑩ 実 | ⑨ 意味を | ⑧ 先生に | ⑦ 賞 | ⑥ | ⑤ 考えを | ④ 直接 | ③ ボタンを | ② 手紙の | ① 用件 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| に会う | かめる | たしめる | おくる | でうかがう | 応用 | する | 留める | 内容 | を伝える |
| | | | | | | | | | |

1問10点

日付

コメント；

点

- | | | | | | | | | | |
|------------|----------|----------|---------|---------|---------|--------------|------------|-----------|----------|
| ⑩ まちがいを正する | ⑨ 事実をのべる | ⑧ 場面を想する | ⑦ 大きなぞう | ⑥ 特別なかわ | ⑤ 手で支える | ④ 俵がたをしたおにぎり | ③ みんなに提示する | ② 永久歯がはえる | ① 敵とたたかう |
|------------|----------|----------|---------|---------|---------|--------------|------------|-----------|----------|

1問10点

点

コメント；

日付

⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①
動物 に か ぎ ら な い	の 中	ぞ う き ば や し	テ ス ト の だ ち と	友 だ ち と く ら	つ み を す	夢 が か な う	台 風 に 備 え る	血 液 の 成 分	海 綿 が 岩 に 付 く

1問10点

日付

コメント；

点

⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①
は な す	東 京 を	お 金 を	建 て く い し や	興 味 ち く	防 災 の 訓 練	か ぜ で の 調 練	か ぜ で 早 退	地 面 を 調 査	知 識 を 広 げ る
じゅん じょ る	じゅん じょ る	あづ け る	あづ け る	の き 持 ち	を 持 つ	の 訓 練	す する	す する	

1問10点

日付

コメント；

点

小5 №.6

名前 ()

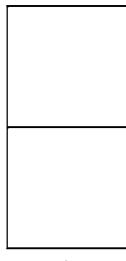
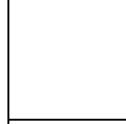
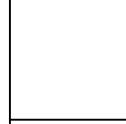
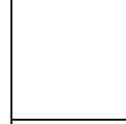
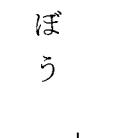
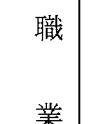
- ⑩ てき どう
せつ メダルをもらう
- ⑨ だい
とう りょう
と会う
- ⑧ あちらへ
い
どう する
- ⑦ ぼう
さい
訓練
- ⑥ 印を付けて示す
- ⑤ 快くうなずく
- ④ 画家を志す
- ③ 鳥の大群
- ② 大陸を横断する

1問10点

日付

コメント；

点

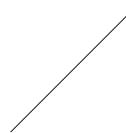
⑩ 	⑨ テ ス ト の 	⑧ 	⑦ 	⑥ 	⑤ 可 能 性 	④ 社 会 の 道 徳 	③ ち え を 編 	② 外 国 と の ぼ う 易 	① 職 業 を 聞 く 
ぼ う	テ ス ト の 易 を 行 う	ゆ う じ ょ う	ぜ い き ん	ほ け ん	可 能 性 が 高 い	社 会 の 道 徳	ち え を 編 み 出 す	外 国 と の ぼ う 易	職 業 を 聞 く
	へ い き ん	を は ぐ く む	を 使 う	を か け る					
	点								

1問10点

点

コメント；

日付



⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①
もん だい を	き び しい				恩 師	準 備	基 本	長 い 説 明	格 言
する	かい けつ	じょう けん	こう どう	り えき	じゅ ぎょう	う ん ど う	に も ど る	を 略 す	を 調べ る

10. なんだいをする
 9. きびしい
 8. を建てる
 7. を追求する
 6. が始まる
 5. 恩師
 4. 準備
 3. 基本
 2. 長い説明を略す
 1. 格言

1問10点

点

コメント；

日付

- ⑩ すい ふく 教えを 文章の よ
 あつ すう き出す みちび けい
 を 調べる の 男女 き出す を考える なことを言う
- ⑨ ⑧ ⑦ ⑥ ⑤ ④ ③ ② ①
- | | | | | | | |
 豊かな自然 | 先生に報告する | 許可を得る |
- か 自然 | 告する |

1問10点

日付

コメント；

点

⑩ 図書館の利用
 ⑨ 人間の存
 ⑧ 番に
 ⑦ ほ
 ⑥ 数が
 ⑤ 伝統
 ④ 身の回りを
 ③ 動物をほ
 ② きよりを
 ① 紙が
 ⑩ りつ
 ⑨ さい
 ⑧ ひりよう
 ⑦ けんの授業
 ⑥ る
 ⑤ を守る
 ④ 清潔
 ③ 護する
 ② 測る
 ① える

1問10点

点

コメント；

日付

⑩ 小鳥を	⑨ えのぐを	⑧ 勢力	⑦ 5分が経	⑥ いきなり	⑤ きん	④ 家で	③ 往	② 絶対	① 商品の検査
飼う	混ぜる	いきお 勢力	いきお 5分が経	いきなり	きん 張 ちよう する	家で 復習	おう ふくしゅう する	ぜつたい にわすれな い	けんさ

いよくかけてくる

する

れる

1問10点

日付

コメント；

点

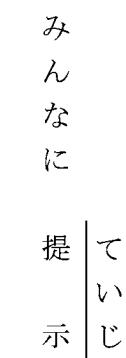
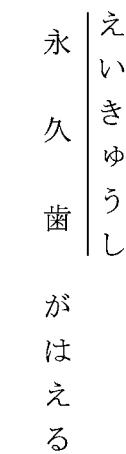
- ⑩ 実際 に会う さい に 会う
- ⑨ 意味を 確める たし かめる
- ⑧ 先生に 質問する しつ もん する
- ⑦ 賞状 をおくる じょう おくる
- ⑥ 団体 でうかがう だんたい でうかがう
- ⑤ 考えを 応用する おうよう する
- ④ 直接 体験する ちよくせつ おうよう する
- ③ ボタンを 留める とめる
- ② 手紙の 内容 ないよう ないよう
- ① 用件 を伝える ようけん ないう

1問10点

日付

コメント；

点

- | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|------|--|---|---|---|
| ⑩ まちがいを | ⑨ 事実を | ⑧ 場面を想 | ⑦ 大きな | ⑥ 特別な | ⑤ 手で | ④ 俵 | ③ みんなに | ② 永久歯 | ① 敵 |
|  |  |  |  |  | |  |  |  |  |
| 正する | べる | する | | | 支える | たわら | ていいじ | がはえる | とたかう |

1問10点

日付

コメント；

点

⑩ 動物に限らない	⑨ 雜木林の中	⑧ テストの成績	⑦ 友だちと比べる	⑥ つみを許す	⑤ 夢がかなう	④ 台風に備える	③ 血液の成分	② 伝せん病の原因	① 海綿が岩に付く
-----------	---------	----------	-----------	---------	---------	----------	---------	-----------	-----------

1問10点

日付

コメント；

点

⑩ はなす	⑨ 東京を	⑧ お金を	⑦ 感謝	⑥ 建築	⑤ 興味	④ 防災	③ かぜで	② 地面を	① 知識
順序	経る	預ける	の気持ち	家になる	を持つ	の訓練	早退する	調査する	を広げる

1問10点

日付

コメント；

点

① 大陸を横断する | おうだんする

② 鳥の大群 | たいぐん

③ 画家を志す | こころざす

④ 快くうなずく | こころよ

⑤ 印を付けて示す | しめす

⑥ 防災訓練 | ぼうさいくんれん

⑦ あちらへ移動する | あちらへいどうする

⑧ 大統領 | だいとうりょう

と会う

⑨ 銅銭 | どうせん

メダルをもらう

⑩ 適切 | てきせつ

な読み方

1問10点

日付

コメント；

点

⑩ 貿易を行う	⑨ テストの平均点	⑧ 友情	⑦ 税金	⑥ 保険	⑤ 可能性が高い	④ 社会の道徳	③ ちえを編み出す	② 外国とのぼう易	① 職業を聞く
------------	--------------	---------	---------	---------	-------------	------------	--------------	--------------	------------

1問10点

日付

コメント；

点

⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①
もんだいを	きびしい	講堂	利	授業	恩師	準備	基本	長い説明を略す	格言を調べる
解決する	条件	を建てる	を追求する	が始まる	をたずねる	うんどう	にもどる	りやくす	かくげん
		こうどう	りえき	じゅぎょう	おんし	じゅんび	きほん		
		じょうけん							

1問10点

日付

コメント；

点

- ⑩ 水圧 を調べる すいあつ
- ⑨ 複数 の男女 ふくすう
- ⑧ 教えをき出す ふくすう
- ⑦ 文章の構成 みちびこうせい
- ⑥ 余計なことを言う よけいなことを言う
- ⑤ 課題を設定する せつていする
- ④ 資料を作りする しりょうを作りする
- ③ 豊かな自然 ゆたかな自然
- ② 先生に報告する ほうこくする
- ① 許可を得る きよかくする

1問10点

日付

コメント；

点

- ⑩ 図書館の利用 率
⑨ 人間の存 在
⑧ 番に 肥 料
⑦ 保 けんの授業
⑥ 数が 減 る
⑤ 伝統 を守る
④ 身の回りを 清潔 に
③ 動物を保護 する
② きよりを測る
① 紙が燃える

1問10点

日付

コメント；

点

四字熟語忍法帖

①

名前

⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①	
問題										意味
一日千秋	一心同体	空前絶後	危機一髪	自画自贊	弱肉強食	絶体絶命	前代未聞	半信半疑	臨機応変	時と場合の変化に応じて、適切な対応をすること。
待ち遠しくて、一日が千年にも思えるほど、時間のたつのがおそらく感じられること。	二人以上の人間のようになること。	今までに比べられる例が一度もなく、これら先も二度と同じような例は起こらないと思われること。	髪の毛一筋ほどの違いで危険なめにあいそうなこと。	自分で自分のしたことをほめること。	弱いものをきせいにして、強いものが栄えること。	どうしても逃れる方法のない困難な立場にあること。	これまでいちども耳にしたことがないような、めずらしい、かわったこと。	なかなか信じ、なかば疑うこと。ほんとうかうそか、判断に迷うこと。信じきれない状態。	はんしんはんぎ りんきょうへん	りんきょうへん

四字熟語忍法帖

(2)

名前

⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①	
問題										意味
意氣投合	一部始終	一世一代	群集心理	起死回生	自給自足	十人十色	電光石火	千変万化	百發百中	ひやつぱつひやくちゅう
考え方や好みなどが一致して、気持ちがぴったり合うこと。	物事の始めから終わりまで全部。	一生のうちでもこれがいちばんという、はなばなしのおこないをすること。	群がり集まつたために生じた、ふだん一人のときとは異なる特別な心理状態。多くの場合、気持ちが高ぶり、他の行動にひきずられて、ふつうではできないよなことまでしやすくなる。	死にかかっていた病人を生き返らせること。	食物や衣服など、自分が生きていくのに必要なものを自分で生産し、用を達すること。	好みや考えが人それぞれに違うこと。	きわめて短い時間。とてもすばやい行動。	ものごとの変化の多いこと。場面や事件がつぎつぎと変わっていくこと。	発射すれば必ず命中すること。予想や計画がいつも思つたとおりに実現すること。	

四字熟語忍法帖

(3)

名前

問題	意味									
不言実行	あれこれ言わずに、よいと思うことやすること。	にそくさんもん	ふげんじつこう	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
二束三文	数が多くても値段が非常に安いこと。	にそくさんもん	たいきばんせい	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
大器晚成	ひとがらや才能のスケールが大きく、優れてから大成するということ。	しゅしゃせんたく	たいきばんせい	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
取捨選択	ひる人は、若いころは目立たず、年をとつてかいる人には、若いもの、必要なものを選び出して、悪いもの、不要なものを捨てるのこと。	しきはつく	しゅしゃせんたく	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
四苦八苦	非常に苦しむこと。苦労の連続であること。	しきはつく	しゅしゃせんたく	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
公平無私	一方にかたよらず、平等で、自分の利益や欲心のないこと。	こうへいもし	しゅしゃせんたく	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
右往左往	まとまりなくあちこちへ動き、うろたえ混乱するようす。	うおうさおう	しゅしゃせんたく	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
一石二鳥	一つのことをして、二つの利益や効果を上げること。	いつせきにちょう	いちばうせんり	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
一望千里	見渡す限り、広々としている様子。	いくどうおん	いちばうせんり	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
異口同音	多くの人々が口々に同じことを言うこと。多くの意見が一致すること。	いくどうおん	いちばうせんり	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦

多くの人々が口々に同じことを言うこと。多くの意見が一致すること。

④

四字熟語忍法帖

名前

問題	意味										
⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①		
付和雷同 ふわらいどう	日進月歩 にっしんげっぽ	大同小異 だいとうしょうい	心機一転 しんきいってん	自業自得 じぎょうじとく	言語道断 げんごどうだん	公明正大 こうめいせいだい	一朝一夕 いつちょういつせき	温故知新 おんこちしん	以心伝心 いしんでんしん	だまつていてもたがいに心が通じること。	
自分の考え方を持たないで、人の意見にいいかげんな気持ちで賛成し、いっしょに行動すること。	日に日に、驚くほどのはやさで進歩する」と。	小さなちがいはあるが、およそのところは同じであること。大差のないこと。	あることをきっかけとして、心がけが、がらりと変わつて、望ましい方へ向かうこと。	自分が悪いことをしたために、よくない報いを受けること。	言葉も出ないほど、まったくひどいこと。あきれで言葉も出ないこと。	公平で、不正やかくしげ」とがなく、少しの私心もないこと。	ひと朝とひと晩。わずかな期間のたとえ。	昔のことを訪ねもとめ、そこから新しい知識を得ること。	だまつていてもたがいに心が通じること。		

四字熟語忍法帖

⑤

名前

⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①	問題	意味
一期一会 いちごいちらい	一挙両得 いつきよりようとく	一長一短 いつちょういつたん	五里霧中 ごりむちゆう	七転八起 しちてんはつき	針小棒大 しんしょうぼうだい	單刀直入 たんとうちょくにゅう	馬耳東風 ばじとうふう	無我夢中 むがむちゅう	有名無実 ゆうめいむじつ	身や性質がともなつていないこと。 広く知られているが、名ばかりで、實際の中	あることに熱中して、我を忘れること。
限り。 一生の間にただ一度出会うこと。生涯に一度	一つのことをして、二つの利益を得ること （「一石二鳥」）	長所もあり、短所もあること。	五里四方に広がった霧の中にいるように、すっかり迷つて、どうしてよいかわからないこと。	何度も失敗してもくじけずに立ち上がって努力をつづけること。	ちょっととしたことをおおげさに言うこと。	前置きなどなしに、直ちに本題に入ること。	人の意見や忠告をいつこうに気にかけないこと。	と。	廣く知られているが、名ばかりで、實際の中	あることに熱中して、我を忘れること。	あることに熱中して、我を忘れること。

四字熟語忍法帖

⑥

名前

⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①	
										問題
										意味
朝三暮四	ちようさんぼし	千差万別	せんさばんべつ	晴耕雨読	せいこううどく	四面楚歌	しめんそか	三々五々	さんさんごご	完全無欠
日先に話題が付かないこと。また、言葉の上だけでもまく話して他人をだましたり、ばかりにしたりする。	多くのものがそれぞれ違っていること。	晴れた日は耕作し、雨の日は読書すること。びりと自由に生活すること。	まわりがみな敵となり、孤立すること。	三人、五人と、少人数が連れ立つて行動するようす。	三日間くらい寒い日がつづき、そのあと四月ぐらい暖かい日が続くという、冬から春先にかけての気候。	過去おおよび前世の行為の善悪に応じて、報いが完全で、少しも不足するところがない。	状態や情勢がよくなったり悪くなったりすることが繰り返されること。	自分の都合のいいように考えたり、したりすること。	我田引水	がでんいんすい

7

四字熟語忍法帖

名前

⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①	問題	意味
悪口雜言	あつこくさくごん	いちいせんしん	いちいたいすい	いちねんほつき	いちもうだいん	いちようらいふく	いちりいぢがい	いつちはんかい	うんさんむしょう	物事が一度にあとかたもなく消えてなくなること。	一つの利益があれば、一方で一つの不利益があること。
一意專心	いっいつうそうごん	一衣帶水	一念發起	一網打尽	一陽來復	一利一害	一知半解	一得一失	雲散霧消	云散雾消	利益があるかわりに、害もあること。 十分には理解できていないこと。

人を悪く言い、口きたなくののしること。
中ほかのこと。ことを考えず、そのことだけに心を集中すること。

一本の帯のように、はばのせまい川や海。また、それによってへだてられ、となりあつていること。
ほかのことを考えず、そのことだけに心を集中すること。

事をなしとげようと決心すること。
事をなして、一度にたくさん魚をとらえること。悪人の一味を、一度に残らずとらえること。

網を打つて、一度にたくさん魚をとらえることから、悪人の一味を、一度に残らずとらえること。

四字熟語忍法帖

(8)

名前

⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①		問題 問題
金科玉条 きんかぎょくじょう	主客転倒 しゅかくてんとう	広大無辺 こうだいむへん	後生大事 ごしうだいじ	得手勝手 とくしゆうせんば	えてかつて	危急存亡 ききゅうそんぼう	牛飲馬食 ぎゅういんばしょく	山川草木 さんせんそうもく	三拌九拌 さんぱいきゅうはい	四分五裂 しぶんごれつ	問題 問題
り。その人にとっていちばん大切な教えやきま	主人と客の立場をとりちがえるように、ものごとの大切なことと、どうてもいいことを逆にあつかってしまうこと。	広くて大きく、はてしのこと。	死後に生まれ変わったときの安樂を願つて、仏教の信仰にはげむこと。物を非常に大事にすること。	自分中心にふるまうこと。わがまま。	牛のようになら、はなはだしく多量に飲み食いすること。 危険や災難が近くに迫り、生き残るか滅び去るかの瀬戸際であること。	山や川、草や木などの自然。	繰り返しおじぎをして敬意を表すこと。人にしきりにものをたのむこと。	ばらばらに分裂してしまうこと。	意味		

四字熟語忍法帖

⑨

名前

⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①	
人事不省 <small>じんじふせい</small>	誠心誠意 <small>せいしんせいい</small>	是々非々 <small>ぜぜひひ</small>	よいことはよい、悪いことは悪いときちんと 判断すること。	詩歌・文章・音楽などで、作り手の手ぎわは同じで なるが、おもむきが異なること。また、見かけは異 ること。いるようであるが、内容はだいたい同じであ る。	自分ひとりの判断で、かつてにものごとを行 うこと。	ほうぼうを絶えず旅行すること。	衣服をたくさん着て体をあたかくし、あき ら、一度にやたらに飲み食いすること。	鯨飲馬食 <small>げいんばしょく</small>	昼夜兼行 <small>ちゅうやけんこう</small>	問題 意味

大病や重症のため、意識を失うこと。

人事不省

誠心誠意

是々非々

同工異曲

独断専行

南船北馬

博学多才

暖衣飽食

鯨飲馬食

昼夜兼行

四字熟語忍法帖

10

名前

問題	意味
和魂洋才	わこんようさい りゆうとうだい 頭は竜で尾は蛇の意味から、はじめは勢いがさかんであるが、終わりになるとその勢いがなくなってしまうこと。
竜頭蛇尾	りゆうしゅうざん 離合集散
離合集散	りょうとうくにく 人々がばらばらになつたり、集まつたりすること。
羊頭狗肉	めんじゅうふくはい 看板には羊の頭を出して実際には犬の肉を売ることから、表面だけ立派に見せかけて、実質はともなわないこと。
面従腹背	まんじょういつち 表面では服従しているふりをし、内心では反対すること。
満場一致	ぼういんぱうしき その会場にいる人のすべての意見や考えが同じになること。
暴飲暴食	ぼういんぱうしょく 酒などを飲み、やたらにたくさん食べる」と
文明開化	ぶんめいかいか 人間の知識や技術が発達して、世の中が開け、生活が便利で楽になること。とくに、明治のはじめ、西洋の文明を積極的に取り入れたこと。
不承不承	ふしょうぶしょう やむを得ず行動するようす。いやいやながら。 死ぬか生きるかのさかいめの状態にある」
半死半生	はんしはんしよう はんしはんしよう